
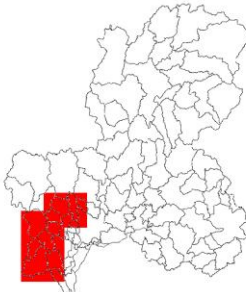


スズシロソウ	<i>Arabis flagellosa</i> Miq.	絶滅危惧Ⅱ類
		アブラナ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	<p>写真(大塚英樹)</p> 
形態の特徴	茎の高さは10-25cmの多年草。花後に基部から葉をつけた長い匍匐枝を出す。根生葉は倒卵形～笹状長楕円形。茎葉は小さい。花期は4-6月。直立する総状花序に白色の4弁花を開く。角果は線形で、長さ1-3cm。	
生態的特徴	山地の谷沿いに生える。	
分布状況	本州(近畿以西)～琉球に分布する。県内では県南の西部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の西部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	
		

文責:佐藤和良